

5/7

「人道の実現」のため 赤十字活動資金募集増強運動出発式



医療救護活動や、災害時の救援物資の配分などの事業の活動資金募集を行い、全面的に支える運動として「赤十字活動資金募集増強運動出発式」が市役所玄関前で行われました。今年も第一号として沖縄綿久寝具(株)から寄附金が贈呈されました。今後とも、赤十字活動を支えるため、皆様のご理解とご協力をお願いします。

5/8

宜野湾市のサポートをお願いしました 民生委員委嘱状伝達式



民生委員委嘱状の伝達式が市役所で行われ、松川正則市長が厚生労働大臣からの委嘱状を米須厚さん(真米原区)、玉那覇薫さん(宜野湾区)、米須律子さん(長田区)の計3名に手渡しました。民生委員とは、地域住民の生活の困り事の相談に応じ、必要な情報提供や助言、その他の援助を行う地域の見守り役のような存在です。

5/10

県税事務所、中部市町村とともに徴収強化！ 県税併任及び市町村間相互併任辞令交付



税収納率向上につながるため、県中部合同庁舎にて県税事務所と中部7市町村の税務徴収職員へ和田副市長から併任辞令が交付されました。県税職員の派遣は平成23年度から継続して行われ、市県民税を中心に、本市と協力して徴収強化に努めています。また平成29年度からは中部8市町村間の相互併任により、広域で情報共有と協働での早期滞納処分に取り組み、徴収体制の強化と徴収技術の向上を図っています。

5/16

広がる地域の輪へ 認知症カフェ(ふてんま保健室)



ヘルシーカフェていんがらにて、認知症カフェ(ふてんま保健室)が開催されました。認知症カフェとは、「物忘れに特化した交流スペース」で、地域住民や高齢者、介護をしているご家族などが、美味しい食事をしながら、楽しい時間を過ごせてもらえるような場所づくりを行っています。今回は、朗読ボランティアブーゲンピリアによる朗読や発声練習が行われ、会場は賑やかな雰囲気になりました。

5/9

海外から沖縄を見つめ直して、将来を考える カケハシ・プロジェクト(TOFUプログラム)報告会を開催

外務省が実施する「対日理解促進交流プログラム」の一環であるカケハシ・プロジェクト『アメリカで沖縄の未来を考える』(TOFUプログラム)へ参加した、市内在住の高校生の仲山愛乃さん、森本千晴さん、泉川和花さんが訪米の報告会を行いました。

仲山さんは、「私達若者が、次世代の沖縄を創っていくものと自覚しました」と感謝し、森本さんは、「国際社会に貢献できる人材になりたい夢ができた」と語りました。泉川さんは、「イチャリパチョーデーの心を大切にしていきたい」と今回のプログラムを通して感じたことを発表しました。

報告会に出席した外務省の川村裕特命全権大使は、「日本でいるだけではわからない事を体験し、自分で考える事に気付いてもらえてよかった」と3人を激励しました。



4/17

目指せ!! プロ野球選手!! 少年野球チームへチケット贈呈式



株式会社アトムホーム(宮平 克哉 CEO)より市内少年野球チームへ、2019年プロ野球公式戦観戦チケット156枚が贈呈されました。児童代表であいさつをした前原 修太朗さん(宜野湾フェニックス)は「当日は、プロのプレーや技術を見て学び、将来同じ舞台に立てるように練習していきます」と感謝の言葉を述べました。

4/22

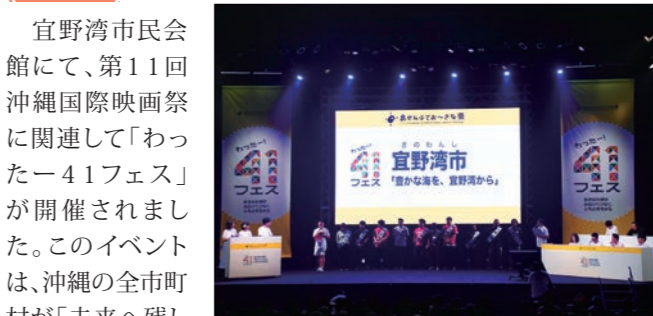
より良い地域づくりの為に 地域づくり推進事業助成金交付決定式



市民が自ら考え行う地域づくり事業として、人材育成事業・地域振興事業などに対し助成金を交付する「地域づくり推進事業助成交付決定式」が行われました。プレゼン審査により決定した3団体の皆さんが今年度、地域特色を活かしたワークショップ、広報人材育成プロジェクト、地域の資源を紹介するまちわく夢図鑑の作成に取り組みます。

4/19

沖縄県の未来へつなぐ地元のちから わったー41フェス



宜野湾市民会館にて、第11回沖縄国際映画祭に関連して「わったー41フェス」が開催されました。このイベントは、沖縄の全市町村が「未来へ残したいもの」をテーマに制作したCMを持ち寄り開催するお祭りイベントで、審査員と会場の皆さま、インターネットによる事前投票により、見事うるま市がグランプリに輝きました。また、会場ではミキさんやジャングルポケットさん、チョコレートプラネットさんによるお笑いや、きいやま商店さんと宮沢和史さんによるスペシャルライブも披露され、会場は大いに盛り上がりました。

4/27

五穀豊穡と子孫繁栄を願う 我如古サングワチャー(豊年祭)



我如古サングワチャー(豊年祭)が同区公民館にて開催され、参加した多くの区民で賑わう中、婦人会、我如古スンサーミー保存会により市無形民俗文化財「スンサーミー」が披露されました。保存会の我喜屋光子会長は「継承する際に大切なことは、踊りの型を崩さずに次の世代へ繋ぐ事なので、継続的に練習を行っている」と伝統文化の大切さを語りました。

Photo News

こみゆにてい
兜聞録

宜野湾市の
いろいろな話題

市の動きや
まちの最近の出来事
をお届けします!